

議会だより

158

H27.11.1

三芳町

平成26年度一般会計・

特別会計・決算認定 P 2

一般質問(14人が町政を問う) P 10

要望・意見書 P 17



10月3日

第三保育所・みどり学園運動会

議会だより発行月

2月 5月 8月 11月

次の発行は2月1日の予定です。

認定しました

一般会計歳入総額

153 億 8870 万 2821 円

前年度に比べ **28 億 9644 万 430 円 (23.2%) 増**

平成27年
第5回 臨時会
 (7月24日)
第6回 定例会
 (8月28日~9月17日)

平成27年第5回三芳町議会臨時会が7月24日に開かれ、町長提出の議案2件が原案どおり可決しました。
 8月28日からは、第6回三芳町議会定例会が21日間の会期にわたり開かれました。
 この定例会では、議会運営委員会提出の発議を原案通り「可決」。町長提出の4件の報告があり、議案14件、認定6件、

同意1件を原案どおり「可決」・「認定」・「同意」しました。また、審議の結果、要望1件を「採択」、議員提出の意見書5件のうち3件を「可決」、2件を「否決」としました。
 「一般質問については、14名の議員が3日間の日程で行い、うち1日は「夜間議会」も開かれ、活発な議論が交わされました。

反 討 論 日本共産党

復興増税として、住民税均等割一人当たり500円の増税。

一方、アベノミクスで大企業や大株主は過去最高利益を得た。歳出では、母子保健事業や大雪被害対策など評価するが、財政支出の大きいスマートICの大型車導入実施計画は中止すべき。住民負担増やサービス低下はやめるべき。

賛 討 論 公明党

依然として財政状況の厳しい中、さまざまな施策が展開され住民のニーズに応えたことは評価する。しかし、将来負担比率の上昇が多く見られる。今後適正な行財政改革に努め、危機管理体制と防災対策の強化を図り、交通安全対策やがん対策の向上に取り組まれるよう要望し賛成とする。

平成27年第6回三芳町議会定例会 平成26年度の決算を

一般会計歳出総額

147億7991万3257円

前年度に比べ**28億7388万2810円(24.1%)**増

一般会計歳入歳出の差引残額

6億878万9564円

一般会計決算 歳出の主な事業

| | |
|----------------------------|-----------|
| ①スマートICフルインター化実施計画策定業務委託料 | 567万円 |
| ②公共施設簡易劣化診断及び長期修繕計画策定業務委託料 | 888万円 |
| ③防犯灯新設工事費 | 97万円 |
| ④地域福祉バス利用料 | 1861万円 |
| ⑤子ども・子育て支援計画策定業務委託料 | 216万円 |
| ⑥ひとり親家庭等医療費 | 1807万円 |
| ⑦竹間沢児童館男子トイレ洋式便器設置工事 | 27万円 |
| ⑧妊婦健康診査委託料 | 2240万円 |
| ⑨三富新田世界農業遺産推進協議会負担金 | 50万円 |
| ⑩みよし野菜ブランド化推進支援事業 | 100万円 |
| ⑪藤久保土地区画整理地内3公園築造工事 | 8625万円 |
| ⑫中央公民館・学校給食センター建設工事 | 16億9071万円 |
| ⑬中学校空調設備設置工事 | 1億8144万円 |

一般会計の主な質疑応答

◆歳入◆

問 固定資産税が増えているが、逆に緑が減少しているのではないか。

答 山林は減っているのが現状。平成25年と26年で2万7000㎡ほど減少している。

問 犬の鑑札等交付手数料の中に、1345頭とあるが、この数が町内で飼われている犬の数か。

答 この数が町内で飼われている犬の数となる。

問 電柱等使用料が平成26年度から新たに記載されているが。

答 脱財政硬直化宣言の中で、自主財源の確保に取り組むため新たに計上したものである。

◆歳出◆

総務費

問 新規職員採用試験民間面接官謝礼とあるが、民間と町の面接官の違いは。

答 民間の知識や人物判断等、町執行部の面接とは違い、十分意義はあつ

たと考えている。

問 弁護士への相談件数は。相談回数は12回。相談の事案としては6件。

問 印刷機借上料が増加した要因は。

答 使用枚数により変動する。平成26年度は臨時福祉給付金等があり、増加したものである。

問 広報みよしが内閣総理大臣賞を受賞したが、町民から広報に対する声は。

答 紙面全体の構成や見やすさ等でお褒めの声を頂いている。

問 広報の作成費用は削減傾向にあったが、平成26年度で増加した要因は。

答 消費税増税と部数の増が主な要因。

問 子ども・子育て支援新制度に係る電子システムの支出の内、国からの補助率は。

答 補助率は3分の2。

問 駅前放置自転車対策費が増加している。見直しに対する考えは。

答 撤去・処分業務の上昇が反映されたもの。撤

去台数は減少傾向にある。

問 負担割合の見直しについては、富士見市と協議を行い、平成27年度予算から負担額が減少している。

問 災害対策グループの出動回数・内容は。

答 平成26年度は3回の出動、いずれも台風による。

民生費

問 老人福祉センターの耐震診断結果は。

答 要補強という結果が出た。事業自体は継続していきたい。

問 メンタルチェックシステムへのアクセス数の推移は。

答 導入当初4000件近くのアクセスがあったが、減少傾向にある。

問 後期高齢者人間ドックはどのような方が対象で、何人受けられたのか。

答 75歳以上が対象で、17

問 緊急サポートの利用件数は。

答 病児をお願いしたのが8件、急遽の預かりで

5件、急な送迎で3件。

問 第一保育所の耐震診断の結果は。

答 特に主要な構造体は耐震性があるという判定。但し、内壁に関しては、地震の際に崩落の危険があるという事で、撤去が必要という結果が出た。

問 みどり学園での講演とは。

答 発達の事や子供の生活の事等についての講演を行った。

衛生費

問 高齢者肺炎球菌予防接種の状況は。

答 対象者2050名の内、943名が接種。

問 スズメバチ駆除の状況は。

答 業者依頼で対応したものが37件、職員で対応したものが63件。

問 大気汚染調査に関して、数値が安定している所は回数や場所を減らしては。

答 同じ場所が続ける事は非常に価値があると理解しているが、今後検討する。

問 広域ごみ処理施設等建設に伴う地域整備事業とは。

答 地域との協定等に基づき、平成26年度はふじみ野市の集会所の整備を実施。

農林水産業費

問 みよし野菜のブランド化の効果は。

答 知名度アップや売り上げの向上等につながっている。

問 補助金の中のエコ農業直接支援事業の内容は。

答 全くの無農薬で農業をされている方、1件へ補助している。

問 遊休農地の活用で竹間沢地域へ菜の花等の播種を行っているが、広がっていく計画はあるのか。

答 国へ他の地域についても計画書を提出している。

商工費

問 婚活事業の内容は。

答 農業男子との婚活事業という形で1回実施。男性12名が参加。女性は応募35名の内、15名の参

加があった。

土木費

問 唐沢堀蓋かけ歩道の点検結果は。

答 距離約360m、325枚を点検。数枚ぐらつきがあるという報告を受けたが、全体を通して問題はなかった。

問 土地区画整理事業の工期短縮は具体的に出来ているか。

答 北松原地区に関しては、一年程度早く事業が完了出来るかもしれない状況である。

消防費

問 消防団員は減少傾向にあると思うが、対策は。

答 当町も減少傾向にある。消防組合と連携し、企業等へ声掛け含め、広報活動を行う。

教育費

問 旧中央公民館跡地の駐車場整備工事の内容は。

答 泥のすき取り、舗装のための骨材搬入、トラ

ロープの区画割りと緑地の設置。

問 みらいのぞみ学校創造支援事業の内容は。

答 テーマを絞り、学校研究を全ての小中学校で実施している。

問 中央公民館のプロジェクトが1万ルーメンとの事だが過剰装備では。

答 今後有効的に使用することも考え選定した。

問 中央公民館に太陽光発電パネルが設置されているので、自然エネルギーに関する学習を行っているか。

答 検討を重ねていきたい。

問 ハンドボール講師謝礼がなくなった要因は。

答 指定管理者にお願いしたため計上していない。

問 文化会館、体育館等の施設の利用状況は。

答 文化会館が63・0%、総合体育館が71・62%、運動公園グラウンド等屋外施設が59・25%。

問 学校開放の利用団体の内訳は。

答 データを持っていない。

平成26年度 特別会計 歳入歳出決算

国民健康保険

歳入総額

46億3305万488円

歳出総額

45億5331万7658円

差引総額

7973万2830円

主な質疑

問 出産育児一時金の支出で、341万円の不用額が出た理由は。

答 例年50程度の件数があるが、平成26年度は42件だった。

問 給付費が上がっている要因は。

答 65歳以上の前期高齢者、特に70歳以上の方が増えており、70歳以上になると高額医療費の算定基準が下がり、

それに応じて高額療養費が増えているのが要因である。

日本共産党

平成26年、国民健康保険運営協議会は、「平成25年度に最高限度額の値上げをしたばかり、消費税率も引き上げられるので、町民の生活は大変」として値上げはしないと決定した。一年も経ていないのに、一般会計からの繰入金を削減しての住民負担増とすることは認められない。繰入金増額をすべき。

反 討 論 対 論

介護保険

歳入総額

18億3521万2774円

歳出総額

18億1294万4301円

差引総額

2226万8473円

主な質疑

問 主治医の意見書作成手数料が増えている要因は。

答 認定申請が増えている。

問 訪問介護と通所介護の件数が伸びているが、住民の要望に応えられているのか。

答 十分に抑えられていると認識している。

後期高齢者医療

歳入総額

3億5263万370円

歳出総額

3億4847万3919円

差引総額

415万6451円

下水道事業

歳入総額

9億4116万2666円

歳出総額

8億9451万3920円

差引総額

4664万8746円

主な質疑

問 下水道使用料の還付金とあるが、その内容は。

答 宅内の漏水件数が9件、重複の測定減によるものが7件となっている。

平成 26 年度
水道事業会計
決算

| | | | | |
|-------|----|--------------|----|--------------|
| 収益的収支 | 収入 | 8億5709万3198円 | 支出 | 7億9464万1986円 |
| 資本的収支 | 収入 | 1億5916万9281円 | 支出 | 3億6366万5309円 |

主な質疑

問 予算では加入金が1566万円であったのが、決算では3600万円となった要因は。

答 区画整理地内での増加が読めないもので、予算では抑えた数字にした。



抜井議員

賛
討
成
論

決算特別委員会にて審査したが度重なる審査中断等、問題の多い審査となった。平成27年3月定例会での予算審査でも同様だった。担当課の新会計に対する認識不足であった。決算書内の数字は適正なので認定とするが、今後、十分な理解と的確な対応を強く求めて賛成討論とする。

山口議員

反
討
対
論

決算特別委員会の質疑に於いて、受贈品の紛失が明らかになった。この受贈品の会計処理が適切に行われたとは考えられず、また固定資産の実地棚卸も行われていない。従って、水道事業の決算が適切であったかに関し、大きな疑問が残る。

日本共産党

反
討
対
論

平成26年4月に水道料金の値上げを実施。水道料金収益は平成25年度比5942万3976円増。加入金は予算時の1566万円から決算では1784万円増の3350万円。現金及び預金は8億2207万9620円もあるので、町民の暮らしと中小企業の重い負担となる値上げはすべきではなかった。

発
議

三芳町議会会議規則の一部を改正する規則

社会情勢などを勘案し、議員の出産における欠席の届け出についての規定及び杖の持ち込みを許可するための改正。

条
例

三芳町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報保護に関する特則を規定するため条例を改正。

三芳町手数料条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付の手数料を規定するため条例

を改正。

三芳町下水道条例の一部を改正する条例

下水道事業の健全な運営のため下水道使用料の改定に伴い条例を改正。

日本共産党

反
討
対
論

値上げをしなくても財源はある。①平成25年度よりも使用料収益が1000万円も増える。②平成27年度繰越金が3000万円以上ある。③貯金が1億4500万円もある。よって、下水道使用料金値上げによる町民負担増は認められない。一般会計の繰入金を削減しての住民への値上げはやめるべき。

三芳町ゲートボール場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

西第2ゲートボール場の廃止に伴い、条例を改正。

補正予算

一般会計(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億3528万7000円を追加し、総額をそれぞれ128億4952万8000円とするもの。

主な内容

- ① 広域ごみ処理施設等建設事業 5億6153万円
- ② 道路施設維持補修事業 5000万円
- ③ 防災設備等維持管理事業 減額412万円
- ④ 富士塚土地区画整理支援事業 減額1億3327万円

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ30万円を追加し、総額をそれぞれ3億6409万8000円とするもの。

主な内容

- ① 保険料還付金 30万円

介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4231万3000円を追加し、総額をそれぞれ19億7057万円とするもの。

主な内容

- ① 介護保険給付費準備基金積立金 1773万円
- ② 国庫負担金等償還金 431万円
- ③ 一般会計繰出金 2026万円

下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ320万2000円を追加し、総額をそれぞれ8億1222万2000円とするもの。

主な内容

- ① 交差点整備に伴う、マンホール撤去費用 265万円
- ② 下水道使用料改定に伴う、周知用チラシ費用 23万円

水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出の予定額に1037万1000円を追加し、8億4718万1000円とするもの。

主な内容

- 資本的収入の予定額に3239万5000円を追加し、4億6449万9000円、資本的支出の予定額に146万6000円を追加し、5億9228万1000円とするもの。
- 収益的支出
 - ① 配水管洗管業務委託 1000万円
 - ② 二酸化炭素排出対策事業費補助金 3239万円

同意しました

任期満了に伴う三芳町教育委員会委員の任命同意について、議会に同意を求められましたので、適任と認め同意しました。

三芳町教育委員会委員

池上善一氏

平成27年 第5回 臨時会(7月24日)

本臨時会に提出された、旧三芳町立学校給食センター解体工事の請負契約については、一般競争入札に付した結果、請負額は1億982万3364円となり、工事の概要は、施設内の建物、工作物、地下埋設物等をすべて撤去し、土砂による埋め戻し後、整地を行い、樹木を植栽し原状に復旧するものとし、工期については、平成28年1月24日までとのことだった。本件については採決の結果、賛成多数で可決となった。また、一般会計補正予算では、文化会館(コピス)ホール照明設備事業、864万円を追加するものとし、慎重な審議の結果、全会一致で可決した。



解体される学校給食センター

■平成 27 年第 5 回臨時会 審議結果

○賛成 ×反対

| 議案等番号 | 議案等名称 | 議員名 結果 | 三芳みらい | | | | | 日本共産党 | | | 公明党 | | | 新芳会 | | |
|--------|------------------------------|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-------|----------|----------|-------|---------|----------|----------|
| | | | 安澤 豊 | 井田 和宏 | 菊地 浩一 | 拔井 尚男 | 山口 正史 | 増田 磨美 | 本名 洋 | 吉村美津子 | 小松 伸介 | 岩城 桂子 | 内藤美佐子 | 鈴木 淳 | 細田 三恵 | 細谷 三男 |
| 議案第38号 | 旧三芳町立学校給食センター解体工事請負契約の締結について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第39号 | 平成 27 年度三芳町一般会計補正予算（第 2 号） | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

■平成 27 年第 6 回定例会 審議結果

| 議案等番号 | 議案等名称 | 議員名 結果 | 三芳みらい | | | | | 日本共産党 | | | 公明党 | | | 新芳会 | | |
|---------|-----------------------------------|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-------|----------|----------|-------|---------|----------|----------|
| | | | 安澤 豊 | 井田 和宏 | 菊地 浩一 | 拔井 尚男 | 山口 正史 | 増田 磨美 | 本名 洋 | 吉村美津子 | 小松 伸介 | 岩城 桂子 | 内藤美佐子 | 鈴木 淳 | 細田 三恵 | 細谷 三男 |
| 発議第 4 号 | 三芳町議会会議規則の一部を改正する規則 | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 報告第 6 号 | 平成 26 年度三芳町一般会計予算継続費精算報告書について | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 報告第 7 号 | 平成 26 年度三芳町健全化判断比率の報告について | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 報告第 8 号 | 平成 26 年度三芳町下水道事業特別会計資金不足比率の報告について | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 報告第 9 号 | 平成 26 年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 議案第40号 | 三芳町個人情報保護条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第41号 | 三芳町手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第42号 | 三芳町下水道条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第43号 | 町（字）の区域の変更について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第44号 | ふじみ野市の公の施設の利用に関する協議について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第45号 | 三芳町道路線の廃止について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第46号 | 三芳町道路線の認定について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第47号 | 平成 26 年度三芳町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 同意第 8 号 | 三芳町教育委員会委員の任命同意について | 原案同意 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第48号 | 平成 27 年度三芳町一般会計補正予算（第 3 号） | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 議案番号 | 議案等名称 | 議員名 結果 | 三芳みらい | | | 日本共産党 | | | 公明党 | | | 新芳会 | | | | |
|---------|--|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-------|----------|----------|-------|---------|----------|----------|
| | | | 安澤 豊 | 井田 和宏 | 菊地 浩二 | 荻井 尚男 | 山口 正史 | 増田 磨美 | 本名 洋 | 吉村美津子 | 小松 伸介 | 岩城 桂子 | 内藤美佐子 | 鈴木 淳 | 細田 三恵 | 細谷 三男 |
| 議案第49号 | 平成27年度三芳町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第50号 | 平成27年度三芳町介護保険特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第51号 | 平成27年度三芳町下水道事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第52号 | 平成27年度三芳町水道事業会計補正予算(第2号) | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第53号 | 三芳町ゲートボール場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第1号 | 平成26年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について | 原案認定 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第2号 | 平成26年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 原案認定 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第3号 | 平成26年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | 原案認定 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第4号 | 平成26年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 原案認定 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第5号 | 平成26年度三芳町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | 原案認定 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第6号 | 平成26年度三芳町水道事業会計決算認定について | 原案認定 | ○ | ○ | 議長 | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情第4号 | 「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を政府に求める意見書(案)」の趣旨の意見書提出を求める陳情 | | 配付のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 要望第5号 | 核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書 | | 配付のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 陳情第6号 | 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情 | | 配付のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 要望第7号 | 要望書(こぶしの里の環境整備) | 採択 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書第8号 | ヘイトスピーチ対策に係る法整備と対策強化を求める意見書(案)について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書第9号 | ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書第10号 | 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書について | 原案可決 | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書第11号 | 国民共通番号制度(マイナンバー制度)の中止・撤回を求める意見書 | 否決 | × | × | 議長 | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × |
| 意見書第12号 | 安全保障関連法案の今国会成立の断念を求める意見書 | 否決 | × | × | 議長 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × |